



伊 敷 台 中 学 校

伊敷台中学校だより
1月号 (R5. 1.26)
文責：校長

本年も、よろしくお願いたします。

◇令和5年がスタート。どんな1年にするか？

年が明けて約1か月が過ぎようとしています。今週は大雪が降るなど、気温が低い日が続いており、体調を崩す生徒はいないか、大変心配しているところです。現在、新型コロナウイルスやインフルエンザによる集団感染はありませんが、油断することなく「手洗い・うがい・換気」を徹底させるなど、感染防止に努めながら、学校教育活動を進めていきたいと考えております。

さて、厳しい寒さが続く中、確実に時は流れています。この3学期を1年間のまとめとして充実させるとともに、これからの1年をどのような1年にするのか、新たな目標を立てることも忘れてはいけません。

3年生は、私立高校入試等を経験したことで緊張感も高まり、新しい環境に向かって既に走り出しているといえるでしょう。1・2年生の皆さんも、自分の将来について真剣に考えながら、今できること、今やらなければならないことを確認して、努力を積み重ねていきましょう。

◇危険予知トレーニング(KYT)を実施

—— 鹿児島気象台職員による出前講座 ——

本校では、1・2年生を対象に、災害発生時における危険防止学習に取り組んでいます。以下に学習の様子を紹介します。

■津波防災ワークショップ(1年:12/20実施)



学習内容
1 地震・津波のメカニズム
2 避難行動(グループ学習)
・発生時に
・危険情報の内容毎に
・避難ルートの作成

■大雨防災ワークショップ(2年:1/16実施)



学習内容
1 大雨による災害事例
2 対応行動(グループ学習)
・大雨警報時に
・土砂災害警戒情報時に
・大雨特別警報時に

生徒の感想から

今回の授業はとても楽しく受けられました。グループの皆で、大雨が降った時の行動や準備について、警戒レベルごとに考えました。話し合う中で、日頃気づかないことや意外な発想も出てきました。災害はいつ起こるか分からないので、自分の命も大切な人の命も守れるようにしたいです。

◇伊敷台中への入学を心から待っています。

—— 「令和5年度入学説明会」の実施 ——

1/20(金)、伊敷台中学校に入学予定の小学校6年生と保護者を本校に招き、入学説明会を行いました。

説明会では、入学までの心構え、PTA活動の内容などの説明の他、生徒会役員による中学校生活の紹介もありました。

この取組は、小中連携の取組の一つでもあり、中学校入学への希望を膨らませ、不安な思いを少しでも解消することを目的として実施しているものです。

生徒の皆さん、自分の弟妹はもちろん、近所に小学生がいたら、先輩として伊敷台中学校のことを優しく教えてくださいね。



〈生徒会による学校生活の説明〉



〈熱心に説明を聞く6年生〉

◇「何とかなる。心配するな。」とは・・・

—— 3年生への入試事前指導から ——

私立高校受験が目前に迫った3年生に対して、校長としてどんな言葉で励ますか？

「一休和尚の遺言」
一休和尚が臨終の際に、「お寺がつぶれるような一大事が生じたら、この箱を開けなさい」と、一つの箱を弟子たちに手渡した。数年が経過し、お寺の存続に関わる重大な問題が起きた。対応に困った弟子たちは、全員が集まる中で、静かに箱を開けた。中には一枚の紙があり、「なるようになる。心配するな。」と書いてあった。

「なるようになる。心配するな。」という言葉は、「結果は決まっているのだから、今更、あれこれ心配しても仕方がない。」というニュアンスで相手を落ち着かせ、安心させるような言葉として使われることが多い。

しかし、この言葉には、省略されている一文があるという説もある。それは……、「なすことをなせ。そうすればなるようになる。だから心配するな。」

「なすことをなせ。」とは、今できることはなにか、もう一度考えて、粘り強くやってみよう。ということではないか。皆さんにとっては、

○入試当日まで、全力を尽くそう。

○問題用紙に思考の跡を残しながら、試験問題に時間いっぱい一生懸命取り組もう。

そうすれば、なるようになる。のではないかと